

あとがき

本号の表紙はサルコイドーシス症例の蛍光眼底造影写真です。欧米の親しい友人は、OCT アンジオが世界的に急速に普及したのを背景に、蛍光眼底造影写真を撮る機会が激減したと言っていました。しかし、「生命の温もり」を感じる蛍光眼底造影には、OCT アンジオでは表現できない生きた血管の機能を反映する重要な側面があり、その重要性にあらためて気付かされます。

さて、本号では、第75回日本臨床眼科学会講演集の7回目として14報の論文に加えて、「今月の話題」としては重安千花先生と山田昌和先生による「コンタクトレンズによる重篤な眼障害の全国調査より得たこと」、連載では、24回目を迎える「国際スタンダードを理解しよう！近視診療の最前線」に関しては赤木忠道先生による「緑内障 病的近視による乳頭およびその周囲の構造変化」が掲載されております。また、堀田芙美香先生による「Clinical Challenge」はとても示唆に富んだ角膜感染症の症例です。どの論文も読みごたえがありますが、特に目を引くのは、日本臨床眼科学会講演集のうち3報が *Nocardia* 感染による膿瘍の報告であることです。感染の首座は角膜、網膜下、結膜と様々であり、それぞれが迫力のある症例なので、比べながら読むことをお勧めします。

個人的な印象としては、今回はやや感染症関連の内容が多い気がします。しかし、COVID-19 のパンデミックをきっかけに感染症の基礎知識も増え、以前よりも興味を持ってこれらの関連論文を読んでいただける読者が多いのではないのでしょうか。そんな勝手な妄想をしています。

(西口 康二)

編集顧問	増田寛次郎 大野重昭 玉井 信 三宅養三 西田輝夫 水流忠彦 根木 昭 寺崎浩子 中澤 満 下村嘉一 井上幸次
編集委員	坂本泰二 鈴木康之 稲谷 大 堀 裕一 西口康二 黒坂大次郎

臨床眼科 (第76巻 第9号)

2022年9月15日発行 (毎月1回15日発行)

定価 3,080 円 (本体 2,800 円 + 税 10%)

2022 年年間購読料 (増刊号を含む 13 冊, 税込, 送料弊社負担)
冊子版 44,154 円
電子版 (個人) 44,154 円
冊子 + 電子版 (個人) 49,654 円

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室 (03) 3817-5706 FAX (03) 3815-7802

E-mail: ringan@igaku-shoin.co.jp

販売・PR 部直通 (03) 3817-5659

印刷所 三報社印刷(株)

広告取扱 (株) 文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

別刷取扱 (株) 医学書院販売・PR 部 電話 (03) 3817-5696

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo Bunkyo-ku, Tokyo © 2022, Printed in Japan.
- ・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は株式会社医学書院が保有します。
- ・ 本誌を無断で複製する行為 (複写, スキャン, デジタルデータ化など) は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的 (診療, 研究活動を含む) で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- ・ **JCOPY** < 出版者著作権管理機構 委託出版物 >
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は, そのつど事前に, 出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。
- ・ 「臨床眼科」は株式会社医学書院の登録商標です。

担当 松井・山本・安部